

Egypt

歴史の源流・エジプトを巡る旅

岸
好
猛



リビア砂漠



アレクサンドリア

カイロ
ギゼー
メンフィス

イスラエル

テーベ

Egypt
エジプト

ルクソール

人類最古の文明の発祥の地の一つとされる、アフリカ北部、ナイル川の下流域。ベルベル地方および内陸部のアフリカ世界と、パレスチナを通じてオリエント世界のメソポタミアと、地中海を通じて古代地中海世界や中世以降のヨーロッパ世界と、そして紅海を距ててアラブ世界と、それぞれ接しており、前近代には世界の中心としての役割を担っていたとも言える。その歴史は長大であるが、大きく分ければ、古代文明期～ヘレニズム期、ローマ領期、イスラーム化の時期、近代の植民地化の危機の時代～現代のエジプトの時代、となる。

なお、現在の正式国号は「エジプト＝アラブ共和国」で、通称が「エジプト」である。ちなみに漢字表記では「埃及」と書く。

(世界史の窓より)



2024.6.20 ~ 7.20

6.20



FEROZ

13

جامعة الأزهر

مسجد الأزهر

محمد أحمد حسين

القلم صديق الإنسان

٢٢-٦-٢٠٢٥

Mosque of el Azhar
٢٢-٦-٢٠٢٥



حيا الامام العظيم
حنيفة السود ليلنا الله عليه
رفب الله عنك منة
محمد السعيد هود

١٦/٦/٢٠٢٥

٢٢-٦-٢٠٢٥



6.20



6.20







6.20



6.21



6.21





6.21





6.21





6.21



6.21



6.22



6.22



6.22



6.22



6.25



6.25



6.25

6.25



6.25

6.26



6.26



6.26



6.26

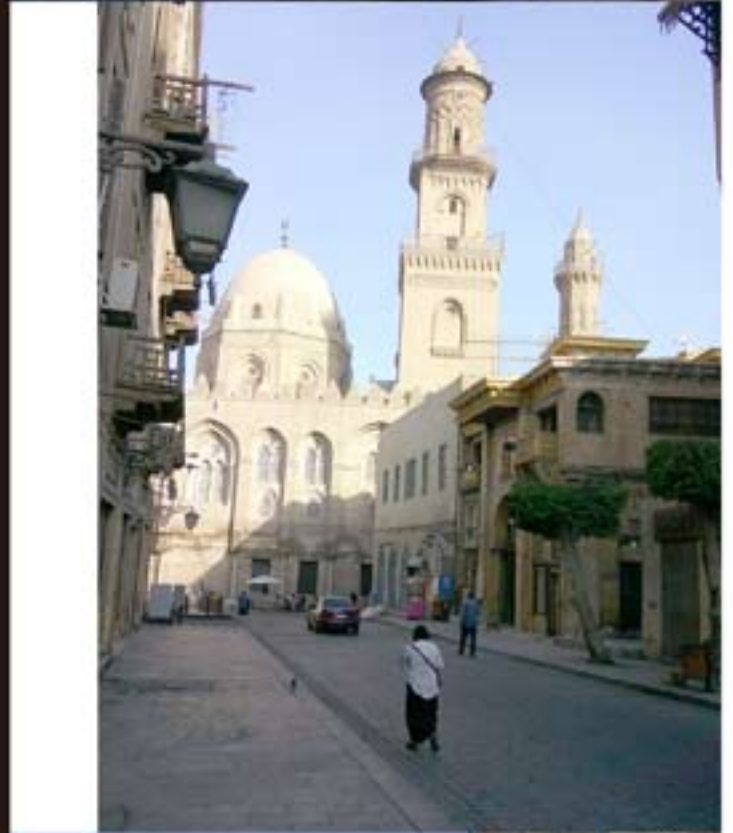




6.26



مسجد و مقبرة السلطان نجم الدين أيوب
Madrasa and Mausoleum of Sultan
al-Salih Ayyub



6.26

6.26



مدرسة السلطان الناصر محمد بن قلاوون
 Madrasa of Sultan al-Nasir
 Muhammad bin Qalawun



مدرسة و خانقاة السلطان برقوق
 Madrasa and Khanqa of
 Sultan Barquq



جامع الأقمر
 Mosque of al-Aqmar



6.26



6.26



6.26



6.26



6.26

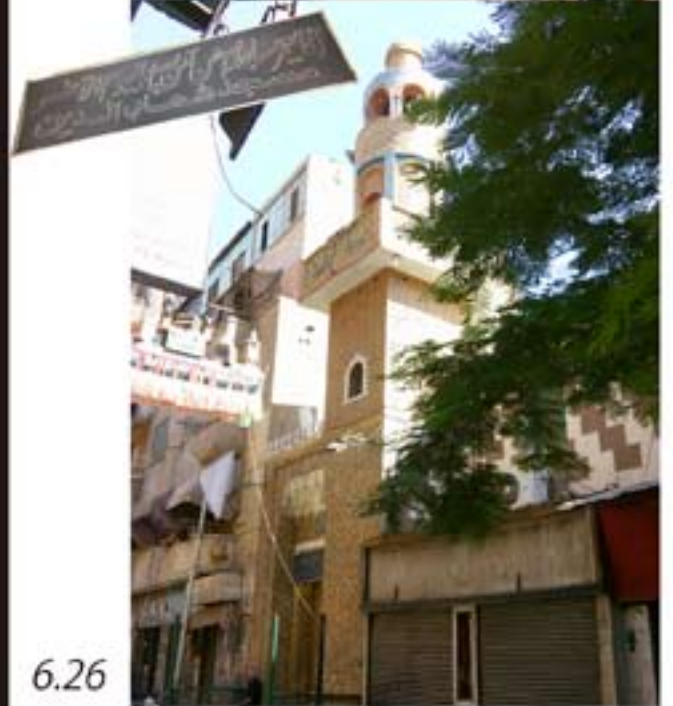


في يوم الاثنين الموافق ١٤٤١هـ
 انجزت من قبل اللجنة التنفيذية
 واهلية
 مسجد الخيام
 في حي الخيام
 في مدينة الرياض
 في يوم الاثنين الموافق ١٤٤١هـ
 انجزت من قبل اللجنة التنفيذية
 واهلية
 مسجد الخيام
 في حي الخيام
 في مدينة الرياض



6.26

6.26



6.26

6.26



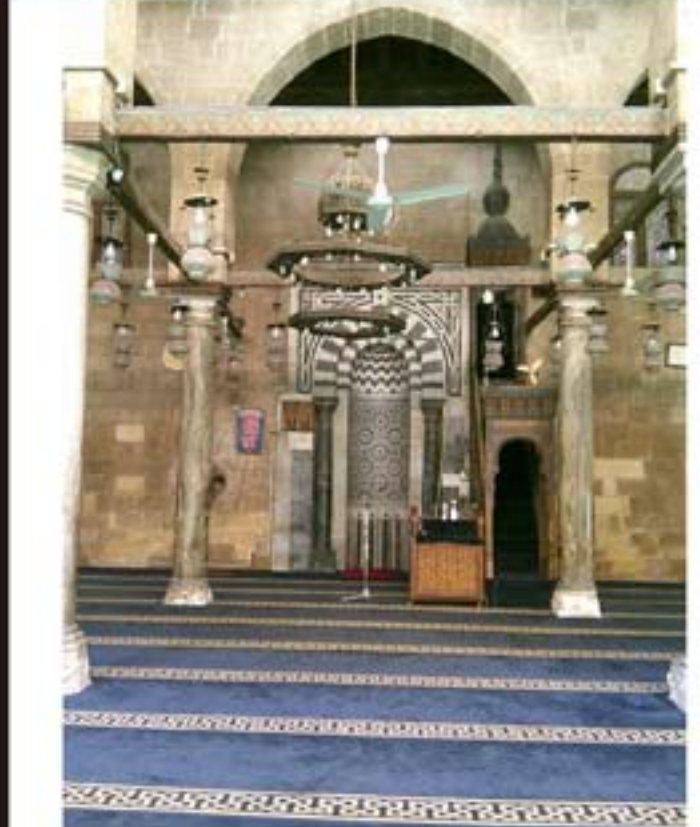
6.26



6.26



6.26



6.26



6.26

6.26



6.27



6.27



6.28





6.28



6.28



6.28



6.29

6.29



6.29



بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ
 مسجد العارن بالله
 سيدي ابو الجبار المرسي
 رضى الله عنه
 المولد الثالث ١٢١٩
 الموافق سنة ١٤١٦ هـ



بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ
 مسجد الامام الحسين
 في مدينة كربلاء
 في سنة ١٢١٩
 الموافق سنة ١٤١٦ هـ

6.29





6.29



6.29



6.30

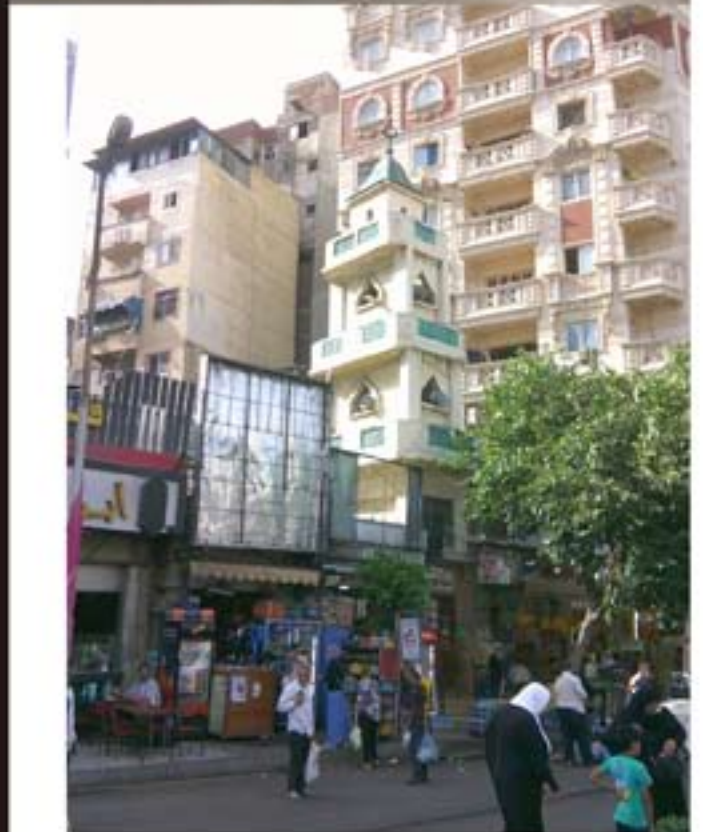


6.30

6.30



7.1



7.1



7.1



7.2



7.2



7.2



7.2



7.2



7.2





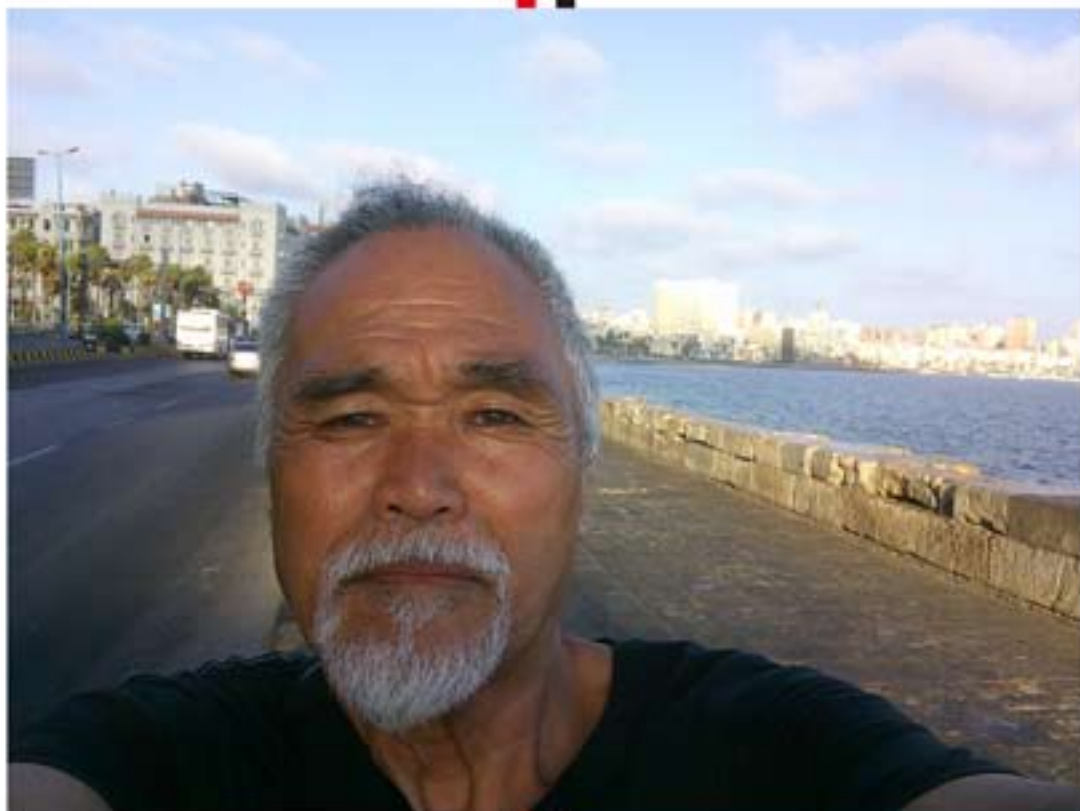
7.3



7.3



7.4



7.4



7.4

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ
 يَسْمَعُ اللَّهُ
 مُحَمَّدٌ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ
 محافظ مدينة الإسكندرية
 بـا فـتـاح
 مسجد السلام
 ١٧ شعبان ١٣٨٨ - ٨ نوفمبر ١٩٦٨



بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ
 يَسْمَعُ اللَّهُ
 مُحَمَّدٌ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ
 محافظ مدينة الإسكندرية



7.5



7.5



7.5



7.5



7.6



7.6



7.6



7.6





7.6



7.6



7.7

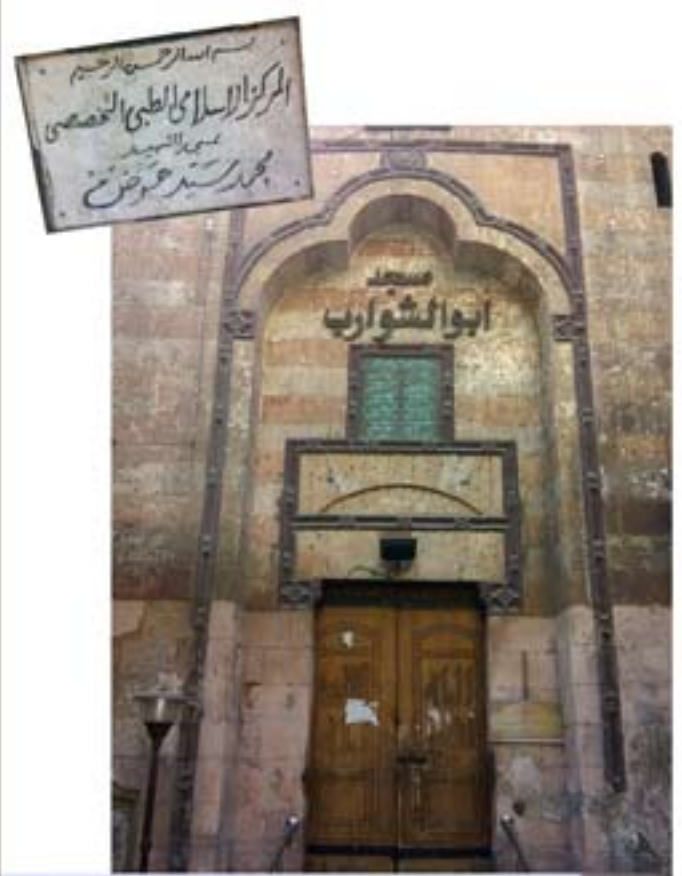




7.9



بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ
 افتتح
 مسجد
 محمد بن عبد الله بن عبد المطلب
 المصطفى
 المصطفى
 سيدنا محمد وآله وصحبه
 وسلم في يوم الاثنين
 الثاني عشر من شهر
 ربيع الأول سنة 1410
 هـ الموافق 1989 م
 في الرياض



بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ
 افتتح
 مسجد
 محمد بن عبد الله بن عبد المطلب
 المصطفى
 المصطفى
 سيدنا محمد وآله وصحبه
 وسلم في يوم الاثنين
 الثاني عشر من شهر
 ربيع الأول سنة 1410
 هـ الموافق 1989 م
 في الرياض

7.9

7.9



7.10





7.10



7.10

7.10



7.10



7.11



7.11

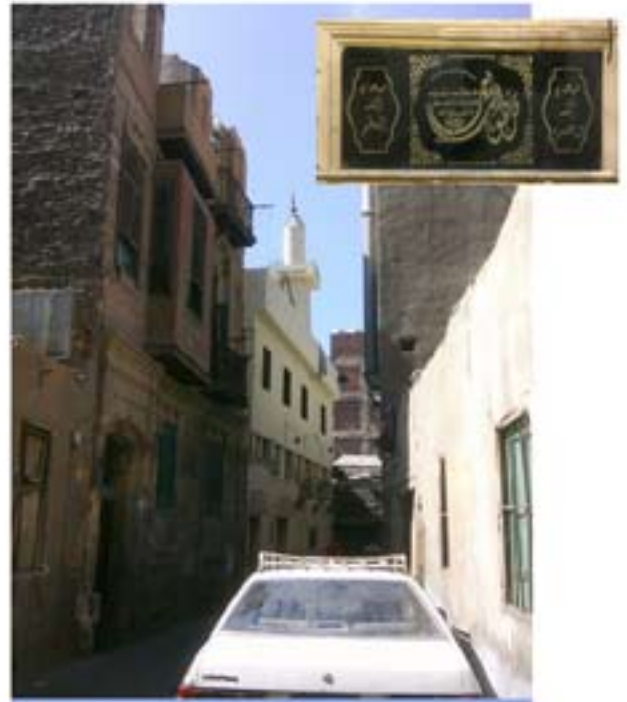
7.11



7.11



7.11



7.11



7.11



7.12

7.12



7.13



7.13



7.13



7.13



遍路行者 岸好猛 エジプトを巡る

遍路行者岸好猛の遍路行も終盤を迎えつつある。仏教者として行くべき国の最後に残った国がエジプトであった。そしてこのエジプトで初めて遍路行者としての屈辱を味わったのである。行者の遍路に対する思いは深い精神性にある。表面上は強靱な体力により動的側面のみ口に出しているが、根底には納経帳に納められた一カ寺一カ寺の信仰の積み重ね（精神性）を追い求めているのだと思う。

エジプトは違った。エジプトイスラムは「バクシーン」の社会であった。バクシーン、それはよく言えば「チップ」、普通に言えば「ワイロ」、悪く言えば「金が全て」の社会である。そこには精神性もへったくれも無い。ガーマ（モスク）に入るにも金、納経帳を開けば金、何をするにも金・金・金、それも諸外国の人間には分からない貨幣価値。金のむしん、ぼったくり、が当り前の社会。

今までの訪問国では、どんなに貧しい国でも納経帳を前にすれば、その崇高性に対し敬虔な態度で手を合わせ頭を下げるのが常であり、そこから精神的な会話に発展することもしばしばであった。

エジプトは違った。精神性においてはインドの最下層民の比ではない貧しさがそこにはあった。

昨今のエジプトはイスラエル・パレスチナ問題でカタールとともに、仲介役国として話題になっているが、これも行者の今までの訪問国が行く先々で大きな事件、事故、災害等の当事国であった一連の流れの一つであった。行者の訪問国はその時々の世界が耳目を集める国々であることは非常に不思議なことで、行者の独特な感性が引き寄せているとしか思えないのである。

我々が観光で見るエジプトはほんの一部で、エジプト一国としては全く逆の状態の国であった。そしてそのような国がイスラエル・パレスチナ問題の仲介役をしているのである。日本からみている中東の国々の問題に対して、日本の国の人々があれこれ言っていることに対し、一言も口に差し挟まない行者がそこに居た。

今回の遍路も最後に相応してと言って良いのか、最も過酷な遍路行であった。はじめに書いた事情から、今回の冊子にメッセージがほとんど載せられなかったことはお察し頂きたい。そのような状況の中で、一ヶ月で500以上のガーマ（モスク）を巡る。50度に迫る灼熱の砂漠の中を唯一人歩き続ける。もはや想像を絶する世界しか見えない。この冊子に取められているものはほんの一部であることを伝えておきます。

岸好猛行者は今年75歳になりました。金の卵といわれた団塊の世代で、良きにつけ悪きにつけ戦後日本を牽引してきた世代です。同世代の仲間の訃報も増えました。しかし、行者は生涯遍路行者であります。仏教者として行くべき国は全て踏破した今、残る一カ所を見据えて体力の維持期間を送っています。残る一カ所が入国可能になる事を信じて……。

令和6年9月21日

真言宗総本山東寺長者 橋本尚信



岸 好猛

歴史の源流・エジプト
カイロ・アレクサンドリアを巡る

2024年10月17日 発行

発行 福田寺

〒250-0854 神奈川県小田原市飯田岡257
電話 0465(36)2755 FAX 0465(37)6688